

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第62号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:大崎 優

はじめに

土佐 FBC 嶺北教室のご案内

土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業(土佐 FBC)は、通常のカリキュラムとは別に、出前講座形式にして食品の基礎知識を学ぶことに主眼を置いた教育プログラム(「土佐 FBC 学外教室」)を実施しています。

平成 28 年度は嶺北地域において開講することとなり、現在、受講生を募集しております。

ご関心をお持ちの方は下記問い合わせ先にお気軽にご連絡ください。

受講期間

平成 28 年 9 月 27 日 ~ 11 月 24 日

講義時間

毎週火曜日・木曜日の 18 時~21 時

講義場所

相川コミュニティセンター

(土佐郡土佐町高須 305)

申込締切

9月2日(金)17時必着

問い合わせ先

土佐 FBC II 企画運営室

TEL 088-864-5158・5138

MAIL tosa-fbc@kochi-u.ac.jp

なお詳細については土佐 FBC のホームページで公開しております。

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/tosafbc/>

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1.KICS 外部評価委員会のご報告

Topic2.平成 28 年度カツオセミナー&フォーラム
in 高知 開催報告

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. NEDO TCP (Technology Commercialization Program) 2016 のご紹介

p4 知的財産部門

Topic1.「知財サロン」参加報告

p5 地方創生推進部門

Topic1. 地方創生推進士育成科目(準正課)の受講について



Topic 1. KICS 外部評価委員会のご報告

文部科学省 COC 事業として実施している「高知大学インサイド・コミュニティ・システム事業(KICS)」において、事業を適正に進捗させ、PDCA を回すため、毎年度、外部評価委員会を開催しており、下記日程にて平成 27 年度 KICS 事業の外部評価が実施されました。

日時:平成 28 年 7 月 8 日(金)13:30~16:30

場所:高知大学朝倉キャンパス事務局管理棟5階会議室

外部評価委員長 : 眞鍋 和博 北九州市立大学 地域創生学群長、地域共生教育センター長

委員 : 井上 哲郎 高知市 副市長

委員 : 吉澤 文治郎 ひまわり乳業株式会社 代表取締役社長

委員からの講評では、全体的に順調に進捗し、活動が着実に進化しているとの評価を得ました。また今後の展開として KICS にて雇用している地域コーディネーター(UBC)の強みを更に活かし、地域への政策提言や産学連携、学生への実践型地域教育へと繋げていくことが求められました。



Topic 2. 平成 28 年度カツオセミナー＆フォーラム in 高知 開催報告

黒潮町との連携により実施する日本カツオ学会のイベントとして、カツオセミナー＆フォーラム in 高知を下記にて開催しました。

日時:平成 28 年 7 月 16 日(土)13:00~17:00

場所:高知共済会館

基調講演①では水産庁増殖推進部漁業資源課長の神谷崇様より、中西部太平洋におけるカツオ資源の調査研究の現状と今後をお話いただきました。続く基調講演②において、味の素(株)グローバルコミュニケーション部 PR・CSR グループ シニアマネージャーの杉本信幸様より、タグ付けしたカツオの放流・再捕獲を台湾とも連携して実施したカツオ遊泳行動に関する研究の直近のご報告と、最新の技術として超音波信号発信型標識(ピンガー)を付けたカツオを放流することで、標識魚が受信機の 300m 範囲内に遊泳した場合に情報を自動で取得できるシステムの開発状況をご報告いただきました。また、特別講演として土佐料理「司」代表取締役社長の竹内太一様にご登壇いただき、飲食業界の立場からのカツオ資源に対する警鐘と、世論形成と情報発信の必要性について強く投げ掛けをいただきました。

この他、一般講演として鹿児島県立短期大学の福田忠弘教授によるご発表があり、その後、基調講演、特別講演の登壇者の方々との総合討論を行い、多くの議論がありました。

今後も黒潮町はじめ、各自治体とも連携しながらカツオ資源に対する取り組みを進めてまいります。



神谷 崇 課長



杉本 信幸 シニアマネージャー



竹内 太一 代表取締役社長

Topic 1. NEDO TCP (Technology Commercialization Program) 2016

のご紹介

NEDO Technology Commercialization Program (以下 TCP) は、技術を基に起業して事業を大きく拡大させたいと考えている起業家、起業家予備群、起業意識のある研究者等を支援するためのプログラムです。TCP では、以下 1~4 の機会を提供いたします。

1. 技術シーズの事業化に必要な知識を提供する「教育プログラム」の提供
2. 専門家によるビジネスプランの作成支援・メンタリング
3. ビジネスに結び付けるための大企業・ベンチャーキャピタル等へのビジネスプラン発表、ネットワーキング、マッチング
4. 海外イベントへの参加を通じたグローバルなネットワーキング



詳細はHPをご参照ください。 : http://nedo-tcp.jp/NEDO_TCP/
TCP2016 全体スケジュール



Topic 2. cvg-2016 キャンパスベンチャーグランプリのご紹介

キャンパスベンチャーグランプリ(cvg)四国は、大学(大学院)、高等専門学校、短期大学、専門学校に在籍する学生、大学院生を対象にしたビジネスプランコンテスト。優れたプランを表彰し、起業家を目指す学生の支援、新産業の創出と人材育成を目的としています。

○ビジネス部門「Business」

ユーザー視点のサービスや、日常生活やキャンパスライフで思い浮かんだ事業アイデアの提案。

ボランティア、NPO 活動なども含む。

地域資源(地域特性を有する技能や、農林水産などの産業・観光資源)を活用したプラン、地方の活性化を促すビジネスモデルの提案。

○テクノロジー部門「Technology」

技術的な要素を背景にした提案。

独創的な技術に基づく、または既存の技術をもとにした新製品開発、サービス、ビジネスモデルの提案。

各種電機・機械製品、装置などハードウェアの開発・製品化をはじめ、パソコン・携帯電話用のソフトウェア開発や、それらを用いたサービスも含む。

※大学や高等専門学校の技術シーズを活用したプランも可。ただし応募者が主体的に関わっているものに限る。



詳細はHPをご参照ください。 <https://www.cvg-nikkan.jp/>

Topic 1. 「知財サロン」参加報告

平成 28 年 7 月 4 日(月)に、高知県工業技術センターにおいて「平成 28 年度第 1 回知財サロン」が開催されました。

知財サロンは、高知県内の知的財産に対して高い意識を持つ企業や団体、高等教育機関等の情報交換・勉強をする場として、知的財産に関する取り組みを活性化するとともに情報交流のネットワークづくりを目的として設置されたもので、高知県と一般社団法人高知県発明協会が主催し毎年 2~4 回程度開催されています。

今回は、特許等の審査基準の改訂に関する勉強会や外国出願について参加者のそれぞれの実情や問題点等の発表と意見交換が行われました。

知財サロンは、高知県内における知的財産に関する貴重な意見交換等の場であり、今後も引き続き参加し情報収集等に努めていきます。



Topic 1. 地方創生推進士育成科目(準正課)の受講について

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」では、地域を支える人材を育成する教育プログラムを整備しています。これら一連のプログラムを修了し「地域への理解と愛情を深めて働きたい」という志を持った学生を、「地方創生推進士」として認証することとしています。

教育プログラムでは、授業科目を、地域を「知る」(1st phase)、「もっと知る」(2nd phase)、「会う」(3rd phase)、「体験する」(4th phase)、「協働する」(5th phase)といった内容で体系化を行い、「地方創生推進士育成科目」として位置づけています。また、学生が地域で自発的・主体的に活動する事業などの準正課も各 phase に組み込んでいます。

本事業で新たに立ち上げた以下の準正課についても、順次受講生の募集を行っています。対象者は、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知工業専門高等学校、高知学園短期大学に在籍している学部学生です。詳しくは、「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」ホームページ(<http://www.kochi-cocplus.jp/>)をご覧ください。

○土佐 FBC 部分講義

土佐FBC人材創出事業で意欲的に学ぶ社会人と一緒に、学生が机をならべ学習して交流を行うことができるプログラム。

○社長インターンシップ

県内で活躍する中小企業経営者に密着同行し、企業経営者の考え方やリーダーシップなどを直接学ぶインターンシッププログラム。

○UBC インターンシップ

地域の課題解決に向けて大学・地域・自治体等の関係機関を“コーディネート”する UBC の活動を体験するプログラム。現在 UBC が向き合っている地域課題に基づき設定したテーマを UBC とともに取り組んでもらいます。

○UBC インターンシップ(集落活動センター in 奈半利)

集落活動センターの取組みを、UBC のほか、役場職員、県職員に同行し、直接体験するプログラム。平成 28 年3月に設置された集落活動センター「なはりの郷」で、13 億円余りの寄付を集めたふるさと納税の返礼品手配の現場を体験したり、住民などと農水産物の加工品開発や観光メニューの検討を行うことを予定しています。

○ココプラ交流事業

高知県産学官民連携センター(ココプラ)で行っている「シーズ・研究内容紹介」と「経営者トーク」を一定回数受講するプログラム。

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」では、このほかにも地方創生推進士育成科目(準正課)を整備しています。